

(別紙様式1)

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	下呂市立下呂小学校		
実 施 期 間	平成26年11月26日(水)～12月2日(火)		
実 施 概 要	①総合的な学習および教科学習の公開授業 ②学習成果の掲示および展示発表 (全校児童、保護者、地域関係者を対象に公開)		
実 施 内 容	学習・取組の分野 ■自然 ■歴史 ■文化 ■産業 ■その他		
	公開の方法 ■授業公開 ■成果発表 □交流活動 □講演会等 □地域行事等参加 □その他		
来 校 者 数	保 護 者	186 人	計 211 人
	地域関係者	25 人	
実 施 状 況	◇ 公開授業 低学年…今年度校内研究で取り組んでいる算数科の授業公開 中高学年…総合的な学習の時間や教科学習に取り組んできた学習内容等を保護者・地域関係者に公開 ◇ 学習成果の展示発表等 1年生…生活科(秋の自然物を使ったおもちゃ・リース等)、2年生…まちたんけん(生活科)、3年生…下呂のよさ(総合)、4年生…福祉(総合)、5年生…環境(総合)、6年生…歴史(総合) 特支学級…交流学年(総合)と栽培活動(自立活動) ◇ 「大きな声」「理由を付けて話す」など、学年・学級の「めざす授業」に向けてこだわって取り組んでいる成果をお家の方々や地域の方々に見てもらいたいという児童の思いも受けて実施している。話す側、聞く側の対象が明確となり、本校が大事にしている「聞く・話す姿勢」「あいさつ」などが成果として示せるように取り組んできた。		
成果及び課題	【成果】 ・中高学年は、伝えることを意識し、最後まで堂々と話しきる姿勢ができていた。内容についても保護者が興味深く聞き入るようなものもあり、各学年の学習の成果が十分表れていた。低学年は、4月の頃よりも成長した姿を見ていただけ、保護者からは、「授業はとても活気があってどの子も元気いっぱいな姿を見て4月からの成長を感じました。」「〇〇は人前で話すことが苦手な子なのに、あんな風に発表できていて嬉しかったです。『がんばったね』というと〇〇も嬉しそうでした。」「おじいちゃんおばあちゃんにも□□が頑張っているところが見てもらえて良かったです。」などの感想を多くいただいた。 【課題】 ・本年度「話す・聞く」を重点に取り組んできて、成果を感じる反面個によっては、声が小さいことや聞く人を見て話せない自信のない様子もみられ、今後の大きな課題ととらえている。 ・昨年度の反省から発表場所を南舎に集中したが、発表が互いに干渉する状況が生まれ、保護者からの指摘もあった。来年度は、さらによりよい発表環境になるよう検討をしたい。		